

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】令和6年10月4日(2024.10.4)

【国際公開番号】WO2023/145839
 【出願番号】特願2023-576991(P2023-576991)

【国際特許分類】

H 0 1 L 2 1 / 6 8 3 (2 0 0 6 . 0 1)

H 0 2 N 1 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 1 L 2 1 / 6 8 R

H 0 2 N 1 3 / 0 0 D

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月24日(2024.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被処理体を保持する第1面および該第1面の反対側に位置する第2面を有する絶縁性の基体と、

前記基体の内部に位置し、前記第1面に沿って延びる導電層と、

前記基体の内部に位置し、前記導電層から前記第2面側へ突出する突出部と

を備え、

前記突出部は、前記導電層と接する第1端面と、前記第2面側に位置する第2端面とを有しており、

前記第1端面と前記第2端面との間の第1距離は、前記導電層の厚みの1/2倍よりも大きい、吸着基板。

30

【請求項2】

前記第1距離は、前記第1面と前記導電層との間の第2距離よりも大きい、請求項1に記載の吸着基板。

【請求項3】

前記突出部は、厚み方向において断面形状が変化している、請求項1に記載の吸着基板。

【請求項4】

前記突出部は、テーパ状である、請求項3に記載の吸着基板。

【請求項5】

前記突出部は、前記第2端面に接続され、前記第1面に沿って延びる平坦部を有しており、

前記第1面側から平面視した前記平坦部の面積は、前記第2端面の面積よりも大きい、請求項1に記載の吸着基板。

40

【請求項6】

前記突出部は、前記第2端面に接続され、前記第1面に沿って延びる平坦部を有しており、

前記平坦部は、前記導電層よりも前記第1面側から平面視した面積が小さい、請求項1に記載の吸着基板。

【請求項7】

50

前記第 1 面側から平面視した前記突出部の面積は、前記第 1 面側から平面視した前記平坦部の面積の 5 % ~ 3 0 % である、請求項 6 に記載の吸着基板。

【請求項 8】

前記吸着基板は、前記導電層からそれぞれ突出する複数の突出部を有しており、前記平坦部は、前記複数の突出部の前記第 2 端面にそれぞれに接続されている、請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 つに記載の吸着基板。

【請求項 9】

前記平坦部の厚みは、前記導電層の厚みよりも大きい、請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 つに記載の吸着基板。

10

20

30

40

50